

KantetsuNews

2016年03月20日

いつも、関西鉄道をご利用いただきありがとうございます。

2016年3月12日（土）に開業した関鉄奈良線において、来年度のダイヤ改正により車両編成の改良及び2019年の大阪国際空港延伸に備え、K11系5000番台2次車（5100番台）の導入をします。

この度の新型車両は、JR西日本との共同開発で行っております。

客室内車内灯はLED化し、車内Wi-Fiを整備。ドア誤扱い防止装置や戸挟み検知機能、車両異常挙動検知装置などの安全装置を多数搭載しています。これによりさらなる安全機能・サービス機能を付加した車両となりました。車体の種別・行先表示器はフルカラーLEDとしました。

全車両2016年度中の営業運転開始に向け、製造中です。今後、4両編成5編成・6両編成5編成・8両編成2編成の計58両を導入し、新快速から普通列車まで運用する予定です。

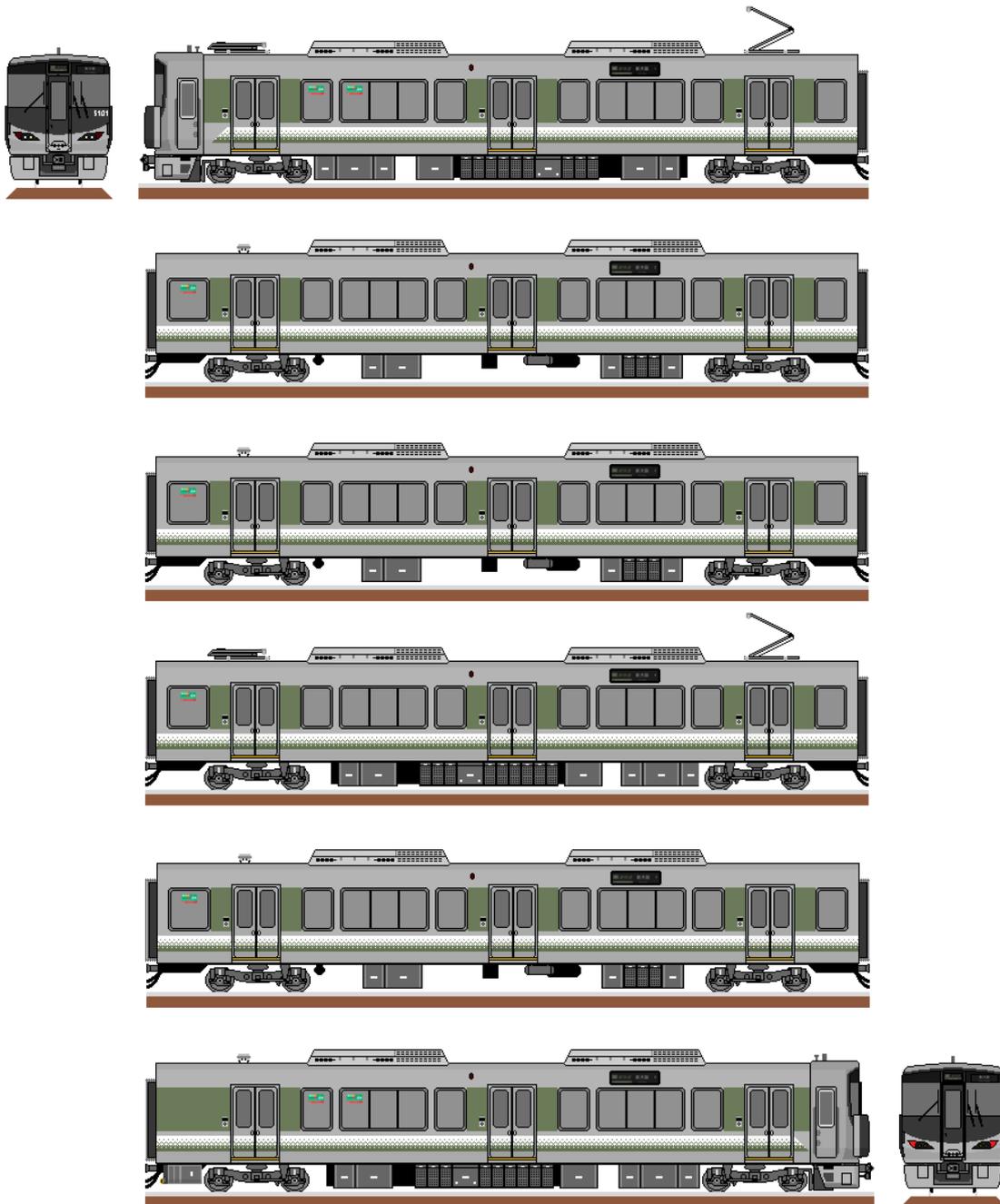
車内外観

- ・前照灯はHIDを採用し、内側はHID式フォグランプ（黄色）にしました
- ・車体の種別・行先表示器のすべてフルカラーLEDを採用
- ・車体塗装をリニューアル
- ・半自動ドアシステムを追加し、ドア開閉ボタンを設置

車内設備

- ・車いす対応の大型トイレを奈良側先頭車に設置
- ・客用ドアガラスにUVカットの腹蔵ガラスを採用
- ・車内案内表示器を1両ごとに4ヵ所設置（関鉄西日本最大数）
- ・ドア周辺の座席は収納式補助席を採用
- ・つり革は黄色にし、優先座席は緑色に区別

車両デザインイメージ（3月下旬に落成予定の第一編成 関西車輛製）





車両間を行き来するための貫通扉を開けやすくする工夫